

「血液バイオマーカーapoA2 アイソフォームによる膵がん検診の臨床に向けた フィージビリティ研究:単群・介入研究」

福井大学医学部附属病院では、以下の臨床研究を実施しています。

研究の実施にあたっては、日本医科大学の倫理審査委員会の審議を経て、本学医学系部門長より許可を受けています。

「研究課題名」

血液バイオマーカーapoA2 アイソフォームによる膵がん検診の臨床に向けたフィージビリティ研究:単群・介入研究

「研究代表者」

本田 一文:日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野教授

「本学研究責任者」

久津見 弘:福井大学医学部附属病院 医学研究支援センター

「研究の目的」

膵がんはとても見つけづらいがんです。新年、CT や MRI・レントゲン・超音波・内視鏡などの検査により、早期のがんを診断する技術は向上しています。しかし、膵がんをはじめとする一部のがんは、早期発見できる診断法が確立できていません。血液を分析することで、膵がんを早期発見できる診断法の研究が行われてきました。この新しい方法は、血液中に含まれる apoA2 アイソフォームというたんぱく質を測定することで、膵がんや膵がんと関係のある膵臓の病気を発見できる検査として検討されています。本研究では、血液検査による apoA2 アイソフォームの測定が、膵がんや他の病気をどのくらい発見できるかを調べることを目的としています。

「研究の方法」

研究実施期間:研究許可日から 2027 年 03 月 31 日

研究対象者:2018年2月5日から2020年1月31日までに、鹿児島県民総合保健センター、ホテルオークラ神戸クリニック、北海道対がん協会がん検診センターで行われた特定検診、がん検診(住民健診)、職域検診、人間ドッグを受けた 50 歳以上の方で、研究参加の意思を得られた方

研究方法の概要:血液から apoA2 アイソフォームを測定し、結果が陽性の場合は医療機関で精密検査を受けていただきます。膵がんや他の膵臓病の診断・治療、生死の状況などについて追跡調査をします。

「研究に用いる試料・情報の種類」

情報:年齢、性別、身長、体重、血液検査データ、apoA2 アイソフォームの測定結果、膵がんのリスク要因に関するアンケート等

試料:血液(血清、血漿)

「情報と試料の取り扱い」

個人情報各機関で仮名加工されるため、日本医科大学医科学研究科では個人情報は扱いません。試料(血液)や情報(臨床情報)は、研究期間実施中～研究終了20年間、日本医科大学大学院医科学研究科で連結匿名化した状態で厳重に保管します。血液を解析する機関は、日本医科大学、横浜市立大学、神戸大学、鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、出水総合医療センター、慶應義塾大学、北海道大学、福井大学医学部附属病院です。臨床性能の検証や体外診断薬承認のための臨床性能試験に利用します。一部のタンパク質などの測定は、米国、カナダ、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スウェーデンなどの欧州連合、シンガポール、台湾、オーストラリアで実施する場合があります。その際、研究対象者の情報は提供しません。

「研究組織」

日本医科大学 本田 一文
横浜市立大学附属病院 加藤 真吾
神戸大学 小林 隆
鹿児島大学 井戸 章雄
鹿児島市立病院 田口 宏樹
出水総合医療センター 藤田 浩
北海道大学 栗谷 将城
慶應義塾大学病院 長島 健悟
日本がんバイオマーカー研究ネットワーク 小西 宏
鹿児島県民総合保健センター 桶谷 薫
北海道対がん協会札幌がん検診センター 安達 督
福井大学医学部附属病院 久津見 弘

「お問い合わせ先」

<研究代表機関>

本田 一文

・日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野

〒113-8602 東京都文京区千駄木 1-1-5

TEL:03-3822-2131

<福井大学における問い合わせ先>

○問い合わせ窓口

久津見 弘

福井大学医学部附属病院 医学研究支援センター

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

電話:0776-61-3111(内線:3218)

○ご意見・苦情窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話:0776-61-8529

受付時間:平日 8:30~17:15(年末年始、祝・祭日除く)

第1版 2020年7月1日

第2版 2023年1月24日

第3版 2023年4月10日

第4版 2024年6月10日